

事務事業名 道路整備事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：507

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070202-01-418
基本事業：	01	道路の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路整備に関する満足度（生活道路） 道路整備に関する満足度（都市間道路）		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市道路線			<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望等による既存道路の改良や新設道路等の工事を検討するための基礎的調査のための費用。 ・各種道路改良工事の実施。 						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路機能の充実・改善を図ることにより、利用者が便利にかつ安全に利用できる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
道路の新設・改良に向けた検討調査箇所数		箇所	0	2	1	1			
小規模な道路改良工事等箇所数		箇所	0	0	1	3			
5. コスト									
事業費		計	千円	5	534	79,059	79,930		
		国	千円			31,609	19,821		
		県	千円			0	0		
		地方債	千円			0	0		
		その他	千円			23,725	0		
一般	千円		5	534	23,725	60,109			
正職員人工数		人工	0.3	0.1	0.9				
正職員人件費		千円	2,345	802	7,543				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,350	1,336	86,602	79,930			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		地元からの改良要望や交通体系全般の見直し要求に基づき、逐次、整備を進めている。 令和6年度は交付金を活用した新規改良路線の選定を実施した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	緊急かつ重要度の高い突発案件への予算執行					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
パリアフリー法改正 利便性と共に安全性の向上が求められる。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									

事務事業名 天拝公園周辺整備事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1982

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	--
基本事業：	01	道路の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路整備に関する満足度（生活道路） 道路整備に関する満足度（都市間道路）		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~ 令和07年度		新規・継続	継続	会計区分				実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
天拝山、武蔵寺等の利用者			令和6年度 駐車場整備工事 令和7年度 駐車場整備工事、用地取得						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			施設利用者の利便性向上と、周辺の交通混雑緩和を図る。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
整備台数		台	0						
5. コスト									
事業費		計	千円	0	47,682	68,022			
		国	千円	0		3,198			
		県	千円	0		0			
		地方債	千円	0		0			
		その他	千円	0		0			
		一般	千円	0	47,682	64,824			
正職員人工数		人工		0.9	0.4				
正職員人件費		千円		7,221	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	54,903	71,374				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和6年度より事業に着手。 令和6年度は、駐車場の造成及び前面道路の改良工事を実施した。 令和7年度は、駐車場整備工事及び用地取得を行う。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
利用者の利便性向上及び、交通混雑緩和を図るため。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									

事務事業名 下見道路改良事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1983

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070202-25-815
基本事業：	01	道路の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路整備に関する満足度（生活道路） 道路整備に関する満足度（都市間道路）		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~ 令和07年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
地域住民及び、市道利用者			令和6年度 測量設計、用地取得 令和7年度 道路改良工事						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
狭隘な道路の拡幅整備を行い、安全な通行の確保と生活環境の向上を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
道路整備延長		m	0		60				
5. コスト									
事業費		計	千円	0	10,056	35,350	967		
		国	千円	0	4,754	13,500	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
		一般	千円	0	5,302	21,850	967		
正職員人工数		人工		0.3	0.4				
正職員人件費		千円		2,407	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	12,463	38,702	967			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和6年度より事業に着手。 令和6年度は、道路測量設計及び用地取得を行った。 令和7年度は、道路改良工事を行う。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
歩行者の安全な通行空間の確保を図るための市民からの要望。									

事務事業名 北杉塚道路改良事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1984

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070202-27-817
基本事業：	01	道路の整備	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路整備に関する満足度（生活道路） 道路整備に関する満足度（都市間道路）		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~ 令和08年度		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
地域住民及び市道利用者			令和6年度 測量設計、用地取得 令和7年度 文化財関連協議 令和8年度 道路改良工事						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
狭隘な道路の拡幅整備を行い、安全な通行の確保と生活環境の向上を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
道路整備延長		m	0		91	91			
5. コスト									
事業費		計	千円	0	7,094		35,391		
		国	千円	0	3,546		12,100		
		県	千円	0			0		
		地方債	千円	0			0		
		その他 一般	千円	0	3,548		23,291		
正職員人工数		人工		0.3	0.1				
正職員人件費		千円		2,407	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	9,501	838	35,391			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和6年度より事業に着手。 令和6年度は、道路測量設計及び用地取得を行った。 令和7年度は、令和8年度工事完了に向け、文化財関連の協議を実施する。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
児童の安全な通行空間の確保を図るための、市民からの要望。									

事務事業名 交通安全施設整備事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：499

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070201-03-417
基本事業：	02	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路管理上の瑕疵による事故件数 道路橋健全率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市が管理する道路			市民や地域からの要望や日常的な道路等の点検状況に基づき、国の交付金（交通安全対策特別交付金）を活用しながら、必要性が高い箇所へ交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、白線等）を整備し、市が管理する道路の適切な維持管理と交通安全対策を推進する						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
必要性が高い交通安全施設（ガードレール、カーブミラー、白線等）を適切に整備し、交通安全対策を推進していく。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
交通安全施設整備工事件数（新規）		件	42	36	46	46			
交通安全施設整備工事件数（更新）		件	45	57	73	73			
5. コスト									
事業費		計	千円	22,316	24,757	31,500	29,804		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.8	0.4	0.4				
正職員人件費		千円	6,252	3,209	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	28,568	27,966	34,852	29,804			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		令和6年度は、施設の新規工事を36件、更新工事を57件行った。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
国の交通安全対策特別交付金を活用した交通安全施設の整備を行う事業として事業を開始。交付金は、昭和43年に道路交通法の改正により創設された交通反則通告制度に基づき納付される反則金収入を原資として、地方公共団体が単独で行う道路交通安全施設整備の財源として交付されている。					備考・特記事項 or 進行管理欄				

事務事業名 橋梁長寿命化促進事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1721

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070102-06-414
基本事業：	02	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路管理上の瑕疵による事故件数 道路橋健全率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
道路橋			法定の定期点検を実施し、健全度評価を行う 健全度評価と、社会的影響度等により、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、計画的に補修を行う						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正な維持管理により施設の長寿命化を図る									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
当年度補修対象橋梁実施割合		%	100	100	100	100			100
5. コスト									
事業費		計	千円	11,786	26,902	34,358	100,310		
		国	千円	2,750	3,795	6,325	40,205		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		14,016	0		
一般	千円	9,036	23,107	14,017	60,105				
正職員人工数		人工	0.7	0.5	0.4				
正職員人件費		千円	5,471	4,012	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	17,257	30,914	37,710	100,310			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		高齢化が進んでいる橋梁は多数あるため、点検に基づき、劣化の程度や破損時の社会的影響度を精査し実施していきたい。 令和6年度は、個別施設計画に基づき、橋梁点検及び橋梁修繕を実施した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
位置や、使用状況により、撤去し集約することも検討していきたい。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
現在管理している橋梁は、高度経済成長期以降に集中して建設されており、今後急速に高齢化することになる。また、永久構造物ではないため、補修等を必要とする橋梁の増加が予想される			着実な実行を図る必要がある						

事務事業名 道路維持補修事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1981

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070102-11-863
基本事業：	02	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の成果指標	道路管理上の瑕疵による事故件数 道路橋健全率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
道路、道路構造物や附帯施設など			道路舗装、道路側溝、照明の維持補修 道路（歩道）、遊歩道の植栽の剪定、消毒 道路路面、道路側溝の清掃 道路法面などの道路用地の草刈り 日常パトロール、地元要望、市民からの通報により補修等を行う。 簡易な補修については、職員にて実施する。 自治会などで行う側溝清掃、道路補修については、原材料の支給やごみ回収を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			道路、道路構造物や附帯施設などの維持補修を行い、交通機能や、道路利用者の安全な利用を確保する。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
道路管理上の瑕疵による事故件数		件		1	0	1			
5. コスト									
事業費		計	千円	0	231,755	300,586	327,619		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	0	231,755	300,586	327,619		
正職員人工数		人工		3.8	4				
正職員人件費		千円		30,487	33,524				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	262,242	334,110	327,619			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		日常点検や地元要望等により、施設の補修を行っている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
道路施設整備事業にて、舗装の個別施設計画を策定予定。対象路線外の舗装点検も実施も予定しており、舗装更新に関する工事費の増が見込まれる。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
令和6年度より道路維持管理事業に代わり事業を行う。市内の道路舗装や附帯施設の老朽化が進んでおり、要補修箇所が増加している。									

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01020101-24-014
基本事業：	03	公共交通の利便性向上と利用促進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	交通手段がなく不便だと思う市民の割合 コミュニティバス等利用者数		担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
市民、交通弱者		平成12年の道路運送法改正に伴い、乗合バス事業者が廃止を申し出たバス路線（上西山線（湯町循環、上西山）、筑紫野線）の運行を継続するため、補助金を交付し、赤字を補填するもの。 また、乗合バス事業者がバス路線を廃止した山口線沿線住民の交通利便性を確保するため、バス路線の運行を交通事業者に委託するもの。 補助金交付（赤字補填）：上西山線（湯町循環、上西山線）、筑紫野線 赤字補填契約 バス路線の運行 赤字補填のための補助金の交付（交付申請受理 交付決定 交付） 運行委託：ちくしのバス（やまぐち線） 委託契約 委託路線の運行 運行委託料の支払い（実績報告 請求 支払）			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）					
市民の生活交通手段を確保、充実させることにより、生活の利便性の向上をめざす。					

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
年間利用者数	人	203,035	184,154	22,000	22,000			260,000	

5. コスト									
事業費	計	千円	42,812	50,129	71,472	33,126			
	国	千円	0	0	1,360	0			
	県	千円	2,004	2,709	2,004	1,002			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	556	558	554	554			
一般	千円	40,252	46,862	67,554	31,570				
正職員人工数	人工	0.4	0.7	0.7	0.7				
正職員人件費	千円	3,126	5,616	5,867					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	45,938	55,745	77,339	33,126				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	生活交通の確保として、赤字補填や委託事業等により路線の存続を図り安定したバス運行を行うことができ、市民の生活交通手段が確保されている。								
どちらかといえばあがっている	成果指標「年間利用者数」は前年度203,035人から184,154人と18,881人減少している。これは筑紫野線、上西山線の運賃値上げと減便による影響があったものと見込んでいる。								
あがっていない（停滞・低下）	全国的な運転手不足等を背景に路線バスの維持が困難な状況があることから、引き続き、地域公共交通計画に基づき、持続可能な交通体系の構築を検討していく必要がある。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	市が委託又は補助を行っているバス路線の収支率の改善を図っていく必要がある。また、コミュニティバス「つくし号」や御笠自治会バス等を含めた全市的な地域公共交通のあり方について検討する必要がある。令和5年度に新たに策定した地域公共交通計画に基づき、地域の実情を踏まえ、国、県、交通事業者、地域等と協議を行いながら、新たな公共交通サービスの導入も含め、持続可能性や利便性の向上に向けた検討を行う。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
平成31年1月から運行を開始しているコミュニティバス及び御笠自治会バスの定着を図るためのルート・ダイヤの見直しをはじめとした利用促進策について検討を進めるとともに、地域公共交通計画に基づき、地域の実情を踏まえ、国、県、交通事業者、地域等と協議を行いながら、新たな公共交通サービスの導入も含め、持続可能性や利便性の向上に向けた検討を行う。					また、本市が交通事業者に赤字補填・運行委託を行っているバス路線（筑紫野線等）については、全市的な地域公共交通のありかたとあわせて、その見直し方策等について検討を進めることとする。				

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
赤字路線のバス廃止申し出による生活交通の確保として、委託事業等により路線の存続を図っている。 ちくしのバス（みかさ線）は、御笠自治会バスの運行開始に伴い、平成31年3月末で運行終了。 ちくしのバス（やまぐち線）は、R7.3月末廃止。R7.1月27日から									

事務事業名 コミュニティバス等運行事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1832

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01020101-25-015
基本事業：	03	公共交通の利便性向上と利用促進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	交通手段がなく不便だと思う市民の割合 コミュニティバス等利用者数		担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成30年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民等			筑紫野市地域公共交通網形成計画に掲げる施策を実現するために、道路運送法等に基づき、市コミュニティバス「つくし号」及び御笠自治会バスを運行するもの。 市コミュニティバス「つくし号」 筑紫野市役所をはじめとした公共施設や商業施設、医療機関等を循環するバスで、1日9便（年中無休で、平日・土日祝日問わず同じダイヤ）運行。運賃は定額で大人150円、小学生以下・障がい者は100円（車椅子の乗降も可）。市福祉バス「カミーリヤバス」等との乗り換えにより、全市的な移動環境を構築。運行は交通事業者との委託契約により実施。 御笠自治会バス 山間部や高台の住宅地等に居住する高齢者などの交通弱者への移動手段として、御笠まちづくり協議会と連携したバスの運行を行うもの。1日4便程度（年中無休で、平日・土日祝日問わず同じダイヤ）運行。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市コミュニティバス「つくし号」及び御笠自治会バスの運行により、市民等の交通手段を確保する。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度実績	06年度実績	07年度当初	08年度要求	09年度計画	10年度計画	目標	
市コミュニティバス「つくし号」年間利用者数		人	27,911	30,083	28,000	32,000			35,000	
御笠自治会バス年間利用者数		人	16,323	18,153	17,000	20,000			20,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	34,555	56,938	132,408	177,643			
		国	千円	0	16,084	0	23,646			
		県	千円	0	0	17,550	8,998			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	719	0	0	4,199			
一般	千円	33,836	40,854	114,858	140,800					
正職員人工数		人工	0.8	0.9	0.9	0.9				
正職員人件費		千円	6,252	7,221	7,543					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	40,807	64,159	139,951	177,643				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	市コミュニティバス「つくし号」については、年間利用者数：30,083人（令和6年度実績）、御笠自治会バスについては、年間利用者数：18,153人（令和6年度実績）といずれも令和元年度運行開始後、過去最高の利用者数になっている。公共交通利用の啓発に加え新型コロナウイルス感染症外出自粛が緩和されたことや、運転免許証返納等により利用人数が増加したものと思われる。 一方で、令和5年度に各コミュニティで開催したワークショップでは、コミバスの運行本数やルート見直しやAIオンデマンドバス導入等の意見も多くあり、利用者のニーズや地域の特性に応じた運行形態の見直しが課題である。引き続き地域公共交通計画に基づき、持続可能かつ、より市民の利便性向上につながるような事業を検討して									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	成果向上余地は大きいことから、収支率の向上に向けた利用促進策について検討を行っていく。 また、類似事業として、既存バス路線への赤字補填・運行委託を行っているが、御笠自治会バスをモデルとした他地域への普及やAIオンデマンドバスを始め、その他有効な手段等について、地域コミュニティとの協議を重ねながら検討を行っていく。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
御笠自治会バスについては、御笠まちづくり協議会と継続的に協議を行いながら、ルート・ダイヤ等の見直しを含めて、より良い運行形態について検討することとしている。 今後バス利用者増に向けて市広報紙や公式Youtubeなどの媒体を使い啓発に力をいれていきたい。				令和4年5月16日から新しいルート・ダイヤで運行を開始。利用者の利便性向上のため令和4年7月1日からPayPayを導入。令和6年3月に持続可能な公共交通体系の構築に向けた研究に関する協定を締結し、民間事業者音の新技术や新サービスを活用し持続可能な公共交通体系の検討を始めた。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成28年3月 筑紫野市地域公共交通網形成計画策定 平成30年 筑紫野市地域公共交通会議開催 平成31年1月4日 市コミュニティバス「つくし号」運行開始 平成31年1月8日 御笠自治会バス運行開始										

事務事業名 地域公共交通従事者確保育成支援事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1968

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01020101-40-860
基本事業：	03	公共交通の利便性向上と利用促進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	交通手段がなく不便だと思う市民の割合 コミュニティバス等利用者数		担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和06年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内に本社又は営業所を有し、市税の滞納がない乗合バス事業者又はタクシー事業者			当該交通事業者に対し、筑紫野市地域公共交通従事者確保支援事業助成金を予算の範囲内で交付する。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【助成対象事業】 第二種免許取得支援事業（第二種免許取得に要した費用の助成） 乗務員確保支援事業（求人広告費、安定雇用の為の経費に対する助成） 新規雇用支援事業（新規雇用者を安定雇用する為の経費に対する助成）							
運転手の確保を図り、市内の持続可能な地域公共交通の構築及び活性化を図る。			【助成基準額】 あわせて、助成対象事業者1者あたり50万円を限度 助成対象乗務員一人あたり、乗合バス事業者30万円、タクシー事業者20万円							
4. 成果（簡易評価は未記入）			【事業の流れ】 事業者からの申請 助成可否の決定（可の場合）助成金の請求 助成金							
成果指標名称		単位	05年度実績	06年度実績	07年度当初	08年度要求	09年度計画	10年度計画	目標	
第二種免許取得を取得し運転手確保に繋がった件数		件		4						
新規採用により運転手確保に繋がった件数		件		8						
5. コスト										
事業費		計	千円	1,858		4,000				
		国	千円	1,858		4,000				
		県	千円	0		0				
		地方債	千円	0		0				
		その他	千円	0		0				
		一般	千円	0		0				
正職員人工数		人工		0.1	0	0				
正職員人件費		千円		802	0					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		2,660	0	4,000				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		新規雇用者が3社8名、うち二種免許取得者は2社4名であった。 アンケートでは、継続実施を望む意見等もあり、交通事業者の全国的な運転手不足等の状況を踏まえ、今後の実施等について検討行う。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
令和6年度物価高騰対策事業として実施										
備考・特記事項 or 進行管理欄										

事務事業名 放置自転車対策事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：58

施策：	23	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01020109-02-051
基本事業：	04	駅の利便性向上	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	駅の利便性に関する満足度		担当課	管理保全課
			担当係	管理担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和61年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
駅まで自転車で来ている市民等			市が指定している自転車放置禁止区域における放置自転車の撤去及び指導、撤去した自転車の返還業務を行っています。 巡回指導・撤去作業は年間で、二日市地区36回、針摺天拝地区36回、筑紫地区36回を設定しています。 撤去した自転車は市内の立明寺で保管します。（令和5年度より原田保管所を閉鎖した。） 防犯登録、車体番号、盗難届けを警察へ照会し、所有者が判明したら引き取りの通知をし、受け取り時に1100円の撤去保管料を徴収します（盗難届けがあるものは警察が回収して届出者に返却）					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）					
放置禁止区域内の放置自転車の解消								
成果指標名称	単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
駅周辺の放置自転車対策の市民満足度（まちづくりアンケート）	%	82.1	88.1	88.75	88.75			95
自転車駐輪場利用率（台/日）	台	1,123	1,092	1,212	1,212			1,450
5. コスト								
事業費	計	千円	4,837	5,051	5,297	5,586		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他 一般	千円	85 4,752	59 4,992	66 5,231	66 5,520		
正職員人工数	人工	0.3	0.3	0.3	0.3			
正職員人件費	千円	2,345	2,407	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	7,182	7,458	7,811	5,586			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	自転車駐輪場における1日当たりの利用率は、R1年度1,353台、R2年度1,011台、R3年度1,107台、R4年度1,160台、R5年度1,123台、R6年度1,092台とやや減少傾向となっている。R2年度はコロナ対策による休校やテレワークなどにより大幅に減少したものと考えられる。駅周辺の放置自転車対策の市民満足度（まちづくりアンケート）は、H30年度84.5%、R1年度85.0%、R2年度89.2%、R3年度88.3%、R4年度87.1%、R5年度82.1%、R6年度88.1%。長期的には向上していたものがR3年度より減少傾向し、R6年度持ち直しを見せている。駅周辺の放置状況を今後とも注視する必要があると考える。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	減少	類似事業	なし	引き続き、指導の徹底及びモラル向上への取り組みにより放置自転車の減少に努めていく。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	小さい							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
令和4年度中にJR二日市駅西口を開設したことで駐輪場設置及び放置禁止区域を設定した。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
駅周辺の道路上に放置自転車が増加し歩行者の快適な通行環境に支障がでているため、昭和61年度に施行した「筑紫野市自転車の放置防止に関する条例」に基づき、自転車放置禁止区域を指定し、放置自転車の防止に努めている。				令和2年3月末、二日市保管所を廃止。令和4年度末で原田保管所を廃止。3箇所あった自転車保管所を1箇所に統合し、放置自転車減少に伴う撤去・指導回数も見直し、コスト削減と業務効率化に努めた。				